



Care Service Co., Ltd.

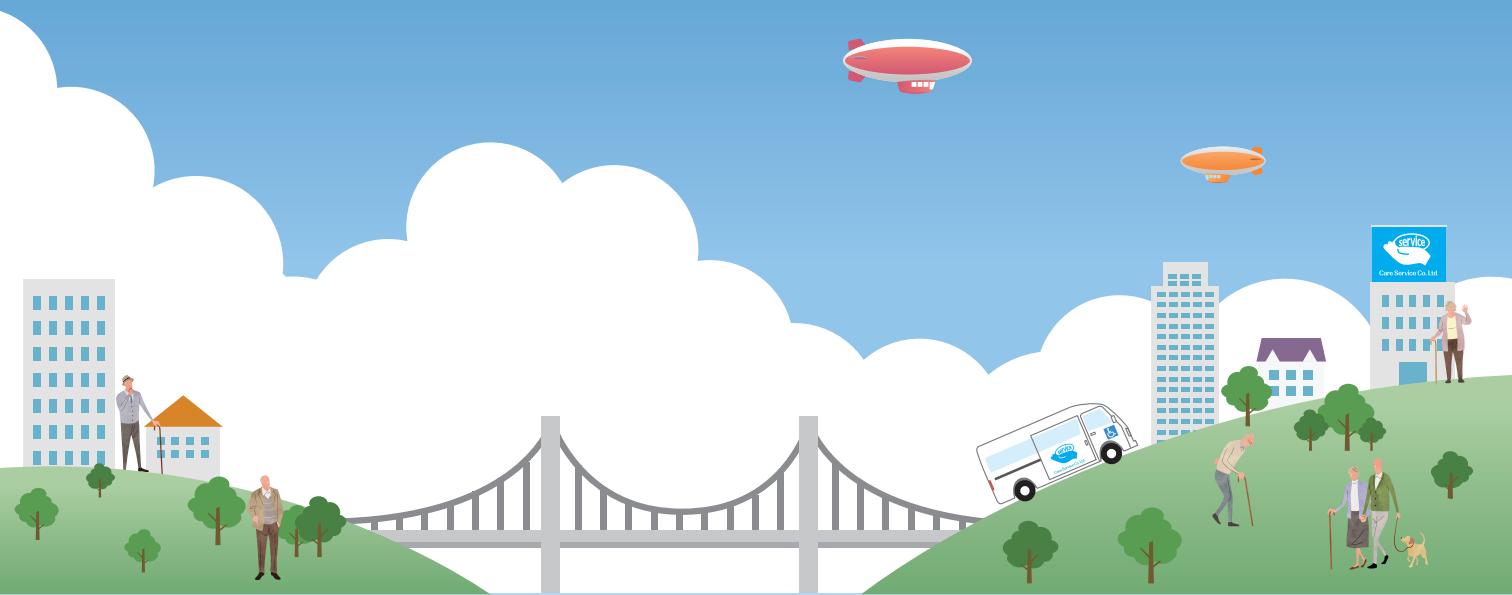
株主・投資家の皆様へ 2022.4.1 ▶ 2023.3.31

ケアサービス 便り



介護からエンゼルケアまで

～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～



証券コード：2425

株主の皆様へ

代表取締役会長
福原 敏雄



代表取締役社長
福原 俊晴

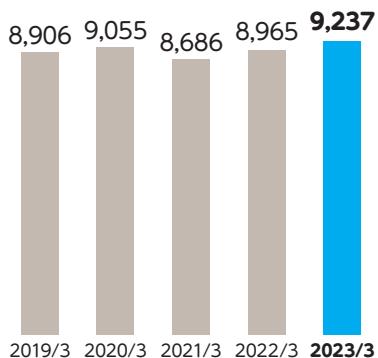


株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
「ケアサービス便り」お届けにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

業績ハイライト

売上高

(単位：百万円)



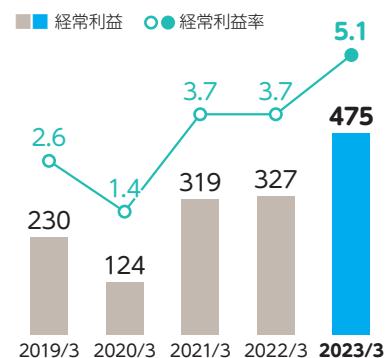
営業利益

(単位：百万円/%)



経常利益

(単位：百万円/%)



2023年3月期を振り返って

新型コロナウイルス感染症の感染者数の拡大と減少が繰り返され、当社グループにおいてもその影響はあったものの、経済活動が徐々に再開するとともにサービスの利用件数増加の兆しが見え始めております。一方で、食料品やエネルギーを中心に物価の上昇が続いており、当社グループでは当期においても経費や業務の見直し、DXの推進による本社スリム化等のコスト削減を進めてまいりました。

さらに、財務体質の改善に取り組み、各サービスの品質向上に繋がる投資を行うとともに、従業員の給与水準の引き上げや増配による株主還元など、成長・拡大の

ための投資と利益還元の両立に努めてまいりました。

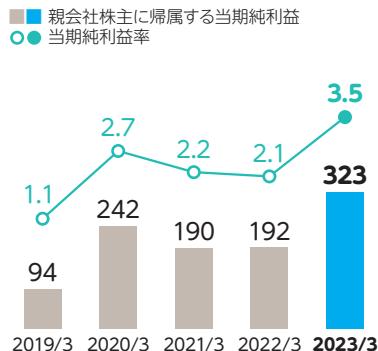
以上の結果、当連結会計年度の売上高は9,237百万円（前期比3.0%増）、営業利益は431百万円（同40.8%増）、経常利益は475百万円（同45.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は323百万円（同68.5%増）となりました。

2024年3月期の基本方針について

2024年3月期におきましては、組織力・事業の再構築をテーマに、競争を勝ち切るビジネスモデルの構築、フリーキャッシュフロー最大化に向けた財務体質強化、将来の成長に向けた従業員への投資・還元を実行してまいります。▶5～6ページ

親会社株主に帰属する当期純利益

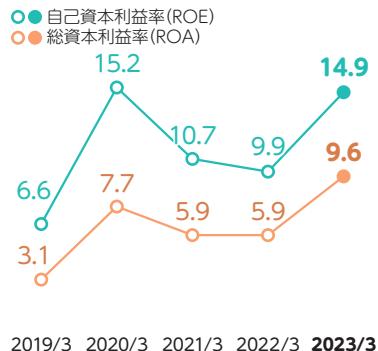
(単位：百万円/%)



自己資本利益率(ROE)

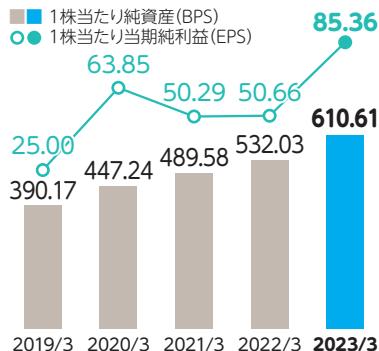
総資本利益率(ROA)

(単位：%)



1株当たり純資産(BPS)

1株当たり当期純利益(EPS) (単位：円)



● トップメッセージ

事業所の開設につきましては、在宅介護サービス事業ではデイサービス、居宅介護支援サービス、訪問入浴サービス、福祉用具レンタルサービス、配食センターの新設を進めてまいります。シニア向け総合サービス事業におきましては、エンゼルケア事業で、2022年11月に初めて進出した九州地区に加えて、西日本へのさらなる地域拡大を予定しており、全事業で10事業所の出店を予定しております。

以上のことから、2024年3月期の連結業績は、売上高10,010百万円(前期比8.4%増)、営業利益541百万円(同25.5%増)、経常利益539百万円(同13.3%増)、親

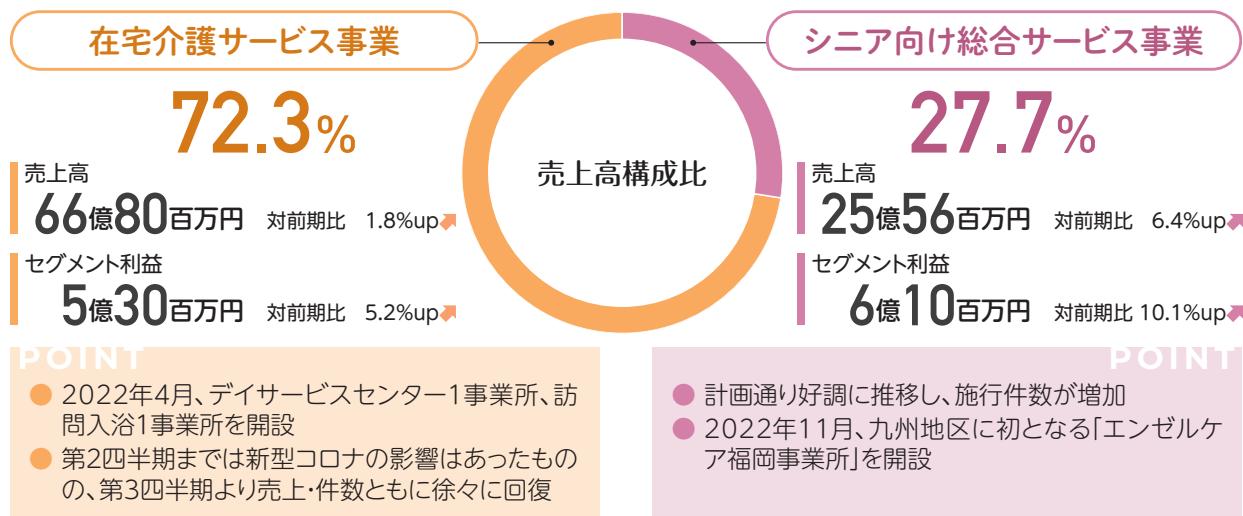
会社株主に帰属する当期純利益341百万円(同5.5%増)を予想しております。

配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保金を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

2023年3月期配当につきましては、2022年3月期配当実績を4円上回る1株当たり14円といたしました。

● セグメント別の業績



配当金と配当性向の推移

(単位：円／％)



サステナビリティの取り組みについて

高齢者介護やエンゼルケアなど社会インフラとしての役割の一端を担う当社グループでは、持続可能な成長とサービス提供のための事業環境の整備に取り組んでおり、環境に配慮した事業所の運営を行うとともに、従業員への利益還元や職場環境の整備に注力してまいります。[▶7～9ページ](#)

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 2024年3月期予想

○ 業績予想概要

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期(予想)		
	実績	利益率	予想	利益率	前期比
売上高	9,237	—	10,010	—	8.4% ▲
営業利益	431	4.7%	541	5.4%	25.5% ▲
経常利益	475	5.1%	539	5.4%	13.3% ▲
親会社株主に帰属する当期純利益	323	3.5%	341	3.4%	5.5% ▲

○ 1株当たり情報

(単位：円)

	2023年3月期	2024年3月期(予想)
当期純利益 (EPS)	85.36	90.09 ▲
年間配当金 (DPS)	14.00	16.00 ▲

※ 予想につきましては、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、そのため不確定要因や今後の事業展開における状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

2033年3月期までの長期の戦略・投資イメージ

	稼ぐ力をつける ~2024/3	大きく投資する ~2027/3	シニア向け総合サービス業への進化 ~2033/3
テーマ	組織力・事業の再構築	絶対的な業界ポジション確立	新しい事業形態への進化
戦略・投資ポイント	<ol style="list-style-type: none"> 競争を勝ち切るビジネスモデル構築 フリーキャッシュフロー最大化に向けた財務体質強化 将来の成長に向けた従業員への投資・還元 	<ol style="list-style-type: none"> 「規模×効率性」ドミナント活用によるビジネスモデル構築 介護報酬改定を見据えた既存事業の再定義と積極的拡大 <ul style="list-style-type: none"> 既存事業の顧客基盤を活かした新規事業開発 海外展開 業務提携、M&A等 	<ol style="list-style-type: none"> 介護保険外事業への発展と既存事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> 看護、医療、調剤との連携、融合 葬祭周辺業務多角化 海外事業拡大（東アジア圏、その他）

「稼ぐ力をつける」

2033年までの長期戦略の中で、2024年3月期までを「稼ぐ力をつける」フェーズと位置付け、組織力・事業の再構築をテーマに取り組み、確実に進捗してまいりました。計画の一年目となった2023年3月期は、コロナ禍の三年間で取り組んだ財務基盤の強化が土台となり、シニア向け総合サービス事業を主とした売上増加と、成長・拡大のための投資、従業員の給与水準の引き上げ等を行う一方で、経費の圧縮と購買の見直しを推し進め、増収増益となりました。

2024年3月期は、次の「大きく投資する」段階を前倒しで実行してまいります。

営業利益の増減分析

売上高 **3.0%増収**

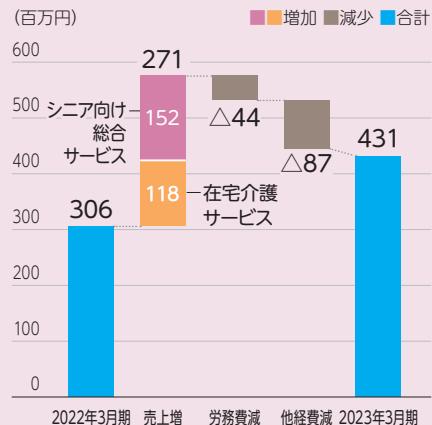
営業利益 **40.8%増益**

増加要因

- シニア向け総合サービスの売上アップ
- 本社コストの圧縮
→本社間接業務のマルチタスク化、DX化による事務効率の改善で労務費を圧縮
- 購買の見直し
- 修繕費、出店および移転建築コストの削減
→事業所修繕を一部内製化。修繕費は前期比約4割減少
→出店時の床材、壁紙等の資材について購入価格を従来の約3割と大幅に抑制

減少要因

- 従業員の給与水準の引き上げ
- 成長・拡大に向けた採用活動の大幅強化による採用関連費の増加
- 物価高騰による水道光熱費等の増加



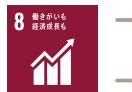
当社のサービスを支えている最も大きな力は「人材=従業員」です。

ケアサービスが今後も成長・発展していくためには、介護やエンゼルケアの現場で働く従業員の力が欠かせません。そのためには、従業員の日々の働きに対し利益を還元し、さらに良いサービスを提供し続けていくことを大切にしております。同時に、多くの従業員が活躍し、やりがいを持って長く働き続けられるよう支援すること、一企業として環境負荷軽減に関する社会的責任を果たしていくこと、これらを良い形で循環させ、お客様と従業員、ステークホルダーの皆様へ還元していくためにさまざまな施策を行っておりますので、ご紹介いたします。

テーマ
1

従業員の労働環境の改善

関連する
SDGs



当社のサービスに欠かせないのは、介護、エンゼルケアの現場で働く従業員の存在です。品質の高いサービスを提供するためにお客様一人ひとりへ寄り添い日々奮闘する従業員へ、「待遇」と「職場環境」の両面の改善に努めております。

従業員の給与水準の引き上げ

お客様へ質の高いサービスを継続的に提供していくために、従業員の経済的な安定を図るとともに、当社で働きがいを感しながら、長く活躍することで、次のステップへの成長を目指すよう、従業員の給与水準の引き上げを実施してまいります。

2023年3月期は、全社の年間実績で平均4.1%の引き上げを実施いたしました。



働きやすい環境作り

従業員の職場である事業所の「快適さ」にも目を向け、既存事業所のメンテナンスや改修、移転を実施いたしました。事業所内の導線や内装などに、物理的・心理的の両面で「働きやすさ」という視点を加えて改善を進めております。2024年3月期におきましても、従業員にとって働きやすく通いやすい事業所作りを継続してまいります。

2023年3月期の実績

●移転

5事務所



当社の従業員の男女比率は、女性が約6割、男性が約4割で、女性が多く活躍しています。女性が働きやすい環境や制度づくりを整備している一方で、事業所所長を担う女性はまだまだ多いとは言えないのが現状です。事業所の運営に女性ならではの視点が反映されることで、お客様や従業員にとって良い効果が生まれる事例があることから、まだまだ多くの方に活躍していただける余地があると考えており、女性が管理職を目指しやすい風土作りに取り組んでいます。

所長職登用に向けた施策



デイサービス事業での取り組みの一つとして、介護技術の熟練の程度や年次に関係なく、所長職としてマネジメントを目指すための職位を設けております。現場業務と並行して所長に求められる資質を学んでいくための期間を設けることで、管理職になる心構えや次のステップを目指しやすい仕組みを整備しております。

この取り組みの結果、**2023年3月期にデイサービスの所長になった女性従業員は、前期比約50%増加**しました。

女性が管理職を目指しやすい風土作り

十分な資質を持った方の管理職への登用を進める一方で、次世代が管理職へチャレンジできる企業風土を醸成するための取り組みも始めています。

その施策の一つとして、さまざまな機会を利用し、後進のロールモデルとなるよう現在の女性管理職や所長のキャリアを紹介しております。どのような経歴の人がどのような思いで取り組み、何をしているのか伝えることで、次の世代が自身の将来に夢を描き、ステップの一つとして管理職へチャレンジできるよう、多くの従業員に向けて情報発信に努めております。



テーマ
3

業務効率化と環境負荷軽減の取り組み

関連する
SDGs



介護業界をはじめ当社が属する業態においては、業務の特性上、未だ紙を使う機会が多くあります。

当社では、業務効率を改善するために紙での管理を減らすことで、ペーパーレス化が進みました。このように業務効率や経費削減の取り組みと、環境に配慮した選択を両立させ、CO₂排出量の軽減に取り組んでおります。



業務効率化によるペーパーレス化でCO₂削減

電子カルテの導入、書類の電子化で業務効率が改善しました。紙に関わるランニングコストの削減のほか、書類保管のための書棚やコピー用紙の置き場などが不要になるなどのメリットもあります。

デイサービスセンターの照明のLED化でCO₂削減

多くのデイサービスセンターで照明を蛍光灯からLED照明に変更しております。蛍光灯に比べ照度が上がるため、視力が低下傾向にある高齢者の視認性を改善でき、参加意欲の向上や転倒事故の予防などにも繋がります。



デイサービス施設のリノベーション時のリサイクル品、廃番品の使用

デイサービス施設のリノベーションにおいて、壁材や床材等の資材をリサイクル品や大手メーカーの廃番品を使用する等、環境に配慮した施設作りを行っております。今後、施設の新設・リノベーションでも継続してまいります。

廃番品購入によるCO₂排出量削減の効果

廃番品が廃棄処分されていた時に発生するCO₂排出量を算出し、当商品購入により、間接的に排出量を削減しました。

2023年3月期実績

●CO₂排出量約 **1,400kg**を抑制

会社概要

○ 会社概要 (2023年3月31日現在)

名 称 株式会社ケアサービス
 代 表 者 福原 俊晴
 本 社 〒143-0016
 東京都大田区大森北一丁目2番3号
 大森御幸ビル
 TEL : 03-5753-1170
 FAX : 03-5753-1165
 創 業 1970年10月5日
 資 本 金 205,125,000円

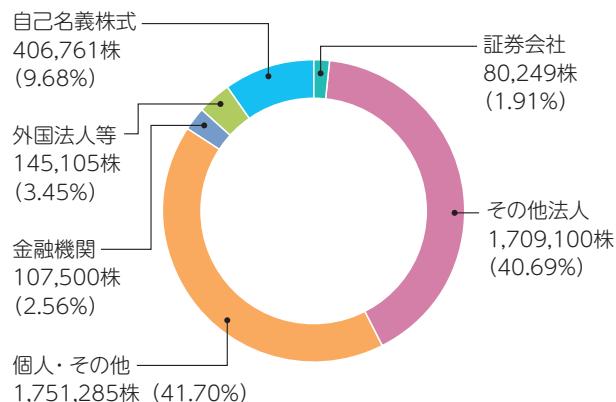
○ 取締役および監査役の状況 (2023年6月27日現在)

代表取締役会長	福原 敏雄	社 外 取 締 役	藤好 優臣
代表取締役社長	福原 俊晴	社 外 取 締 役	森田 直行
常 務 取 締 役	富澤 政信	社 外 取 締 役	園部 洋士
常 務 取 締 役	三浦 裕二	常 勤 監 査 役	日誌 祐子
取 締 役	木高 毅史	社 外 監 査 役	福森 久美
		社 外 監 査 役	尾堂 隆久

○ 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,800,000株
 発行済株式の総数 4,200,000株 (自己株式406,761株を含む)
 株 主 数 2,439名

○ 所有者別株式分布 (2023年3月31日現在)



○ 事業拠点 (2023年3月31日現在109拠点 ※子会社含む)

ケアサービス エリア別の各サービス事業所数

東京23区

本社
 居宅介護支援 12事業所
 デイサービス 42事業所
 訪問入浴 12事業所
 訪問介護 2事業所
 訪問看護 2事業所
 小規模多機能型居宅介護 1事業所
 福祉用具貸与・販売 2事業所
 クリーンサービス 1事業所
 エンゼルケア 2事業所
 配食サービス 1拠点

多摩地区

デイサービス 4事業所
 エンゼルケア 3事業所

神奈川県

訪問入浴 2事業所
 エンゼルケア 5事業所

埼玉県

訪問入浴 1事業所
 エンゼルケア 2事業所

千葉県

エンゼルケア 4事業所

茨城県

エンゼルケア 1事業所

新潟県

エンゼルケア 3事業所

福島県

エンゼルケア 1事業所

山形県

エンゼルケア 1事業所

静岡県

エンゼルケア 1事業所

愛知県

エンゼルケア 1事業所

福岡県

エンゼルケア 1事業所

子会社

株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル
 上海福原護理服務有限公司

ホームページのご案内

当社のホームページでも、サービス紹介や事業所案内、IR情報など詳しい情報を同時に開示しております。是非ご覧ください。

ホームページはこちら

<https://www.care.co.jp/>



トップページ



IR情報はここから

当社のホームページでは、開示が可能となったIR情報を速やかに発表しております。

<https://www.care.co.jp/ir/>

ケアサービス IR



ケアサービスIRメールのご案内

メールアドレスをご登録いただくと、最新のIR関連情報のお知らせをメールで受け取れるサービスです。

ご登録はここから

<https://www.care.co.jp/mailnews/>



株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 毎年3月31日
そのほかに臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

電話照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法 電子公告により行います。
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の当社ホームページアドレス
<https://www.care.co.jp/>

 **株式会社 ケアサービス**

本社 〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目2番3号 大森御幸ビル
TEL : 03-5753-1170 <https://www.care.co.jp/>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。